

全国がん登録 届出準備・対象について

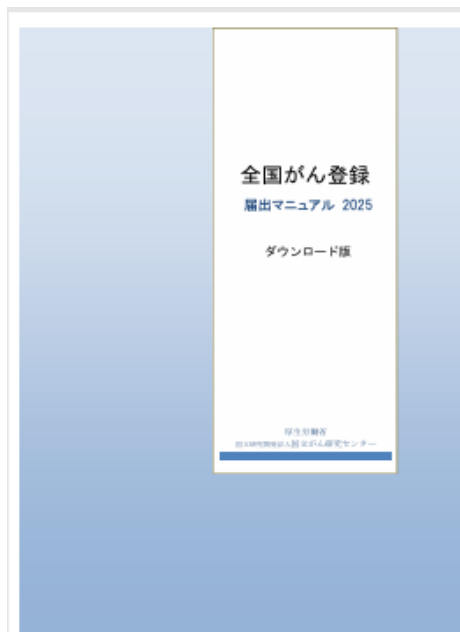
2025年度版
栃木県がん登録室

必要な資料・情報 ①

・全国がん登録 届出マニュアル 2025

がん情報サービス> HOME>がん対策情報> がん登録> 全国がん登録>
病院・診療所向け情報>
全国がん登録 届出マニュアル 2025

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/pdf/ncr_manual_2025.pdf



必要な資料・情報 ②

・がん登録で用いる資料

国際疾病分類
腫瘍学 (NCC監修)
第 3.1 版

4. 国際疾病分類腫瘍学第3.2版 (ICD-O-3.2)
院内がん登録実務用

形態用語番号順	PDF (2024/12/20更新)	エクセルファイル (2024/12/20更新)
形態用語一アルファベット順	PDF (2024/12/20更新)	エクセルファイル (2024/12/20更新)
第3.1版から3.2版への改訂に伴う変更点	PDF (2022/8/4更新)	
国際疾病分類腫瘍学 3.2 コード検索システム	国際疾病分類腫瘍学 3.2 コード検索システムサイト (外部リンク)	コード検索システム 利用マニュアル (PDF) (2020/07/10更新)

※全国がん登録でも国際疾病分類腫瘍学第3.2版(ICD-O-3.2)での届出に統一しました。

現在院内がん登録支援サイトにて
国際疾病分類腫瘍学第3.2版(ICD-O-3.2)
院内がん登録実務用が公表されています。

https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn/

院内がん登録

全国がん登録

各臓器別取扱い規約
(日本：臨床)

必要な資料・情報 ③

・院内がん登録支援サイト https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/

《院内がん登録テキスト》がん情報サービスの5部位テキストへリンク

◎ 部位別テキスト（5部位 * 胃・大腸・肝・肺・乳腺）

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/manual.html

◎ その他の部位 https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn/

● 院内がん登録 院内がん登録実務に関する資料

登録作業実務編：2025年6月版

標準登録様式2016年版 
※全国がん登録届出マニュアルと文言を統一しました。
UICCTNM分類第8版準拠 がんの拡がりと進行度 
※2022年7月26日 脾の分類の一部を修正しました。
※2020年8月26日 上気道消化管の悪性黒色腫の分類の一部を修正しました。

部位別テキスト：2024年6月版

胃 
大腸 
※11ページに文字の重なりがありましたので、修正をしました。
肝 
肺 
乳腺 

7. 部位別テキスト（主要5部位以外）

※すべてPDF

頭頸部腫瘍

1

2

3

消化器系腫瘍

4

5

6

部位別テキスト以外にも
・ 進展度および進行度対応表
・ 多重がんルール など
掲載されています。
参考にしてください。

食道 [ダウンロード](#)
小腸 [ダウンロード](#)
肛門管および [ダウンロード](#)

届出対象

届出の必要な患者

- **2024年1月1日 ~ 2024年12月31日** の期間に自施設で「がん」として診断や治療などの診療行為を初めて行った患者。(入院・外来問わず)
- 病理学的な確定をしなくても、画像診断・血液検査・尿検査・内視鏡診断・肉眼的診断やその他の臨床診断で「がん」と診断すれば届出対象です。
- 治療にはがんのそのものの治療のほか、がんに伴う症状の治療、及び経過観察を含みます。
- がんが原発か転移・再発かを問いません。
(転移・再発であっても、当該がんで自施設に来たのが初めてであれば届出の対象。ただし原発部位で届け出ます。)

*以前に自施設から届出をした患者で、同じがんが再発した場合は届出不要
*以前に自施設から届出をした患者でも、新たながんが生じた場合は届出が必要

***疑診症例は対象外**

多重がん

- ◆ 同じ患者に、2 つ以上の独立した届出対象の原発性のがんが発生した場合を多重がんと定義する。
多重がんには、異なる部位（臓器・器官）にそれぞれに独立した原発性のがんが存在する場合、又は同じ部位に2 つ以上の異なる組織形態のがんが独立して存在する場合がある。



それぞれのがんについて届け出ます

届出の必要ながんの種類

1. 悪性新生物及び上皮内癌（性状3及び2）
2. 髄膜又は脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した腫瘍（良性・良悪性不詳も含みます）
3. 以下の境界悪性の卵巣腫瘍
 - 境界悪性漿液性乳頭状のう胞腫瘍
 - 境界悪性漿液性のう胞腺腫
 - 境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍
 - 境界悪性乳頭状のう胞腺腫
 - 境界悪性粘液性乳頭状のう胞腺腫
 - 境界悪性粘液性のう胞腫瘍
 - 境界悪性明細胞のう胞腫瘍
4. 消化管間質腫瘍GIST

届出マニュアル 5ページ
または付録2.3.4を参照

がん登録の対象となるICD-10コード

※本表に基づいて全国がん登録の対象を抽出することが出来るが、標準病名集がすべてのICD-10コードを含んでいない点等にも留意して、利用すること。

院内がん登録支援サイト
院内がん登録運用マニュアル より

ICD-10 コード	部位	名称	標準病名集に存在する病名
C00._ ~ C97	—	悪性新生物	←
D00._ ~ D09._	—	上皮内癌	←
D18.0	頭蓋内	頭蓋内血管腫	頭蓋内血管腫
D18.1	—	リンパ管腫	リンパ管腫
D32._	→	髄膜の良性腫瘍	←
D33._	→	脳および中枢神経系の良性腫瘍	←
D35.2 ~ D35.4	→	下垂体、頭蓋咽頭管、松果体の良性腫瘍	←
D42._ ~ D43._	→	脳および中枢神経系の性状不詳腫瘍	←
D44.3 ~ D44.5	→	下垂体、頭蓋咽頭管、松果体の性状不詳腫瘍	←
D45	→	真性多血症	←
D46._	—	MDS	←
D47.1	—	慢性骨髄増殖性疾患	骨髄増殖性疾患
D47.3	—	本能性血小板血症	本能性血小板血症
D47.4	—	骨髄線維症	←
D47.5	—	慢性好酸球性白血病	←
D47.7	—	リンパ組織・造血器の性状不詳腫瘍	←
D47.9	—	リンパ組織・造血器の性状不詳腫瘍	なし

コードの末尾の「_」は、0~9のいずれかの数字が入ることを示す。

→ は右の名称にある部位が対象であることを示す。

← は左のコード・名称について、細分された名称が標準病名集に収載されていることを示す。

2019年3月13日 更新

診断とは

- **初回の診断とは**

- 入院・外来を問わず、自施設において、当該腫瘍について初診し、診断及び/又は治療等の対象となった腫瘍が届出の対象です。

- **診断とは**

- 当該病院等が、当該患者の疾病を「がん」として診断/及び又は治療等の診療行為を行っていること。
- 画像診断、血液検査、尿検査、内視鏡診断、肉眼的診断、及び臨床診断を含みます。

転移又は再発の段階で当該病院等における初回の診断が行われた場合を含みます。この場合、転移又は再発に関する情報ではなく、原発性のがんに関する情報を届け出ます。

対象の見つけ出し方

・初めてがん登録を行う施設

1. サマリ（退院時に入院中の経過を要約）
2. 病名・検査
（病理検査、CT、MRI、内視鏡・超音波検査、PET、腫瘍マーカー）
3. 死亡診断書
4. 抗がん剤・放射線治療情報
5. 医師からの報告（協力が必要）

* 病名：退院時・外来・レセプト病名など

* 疑い病名は注意→臨床的に「がん」と診断すれば（病理確定しなくても）届出対象

届出対象の抽出方法

・情報源について

複数の情報源を組み合わせることで自施設に適した方法を見つけることが必要です。
自施設の情報の特徴を捉えて登録すべき症例を効率よく見つけ、不必要な情報を的確にふるい落とすことが出来るよう、方法をご検討ください。

疑い病名は
ご注意ください

情報源	特徴
退院時病名・サマリー	詳細な情報、入院患者のみ
外来病名	
レセプト病名	疑い病名
病理診断報告書	正確、専門用語が使われる
検査記録（内視鏡、超音波検査等）	正確、専門用語が使われる
放射線診断報告書	正確、専門用語が使われる
放射線照射記録	正確、専門用語が使われる
抗がん剤の処方（処方箋・注射箋）	
手術台帳	専門用語が使われる
死亡診断書	
紹介状	
各種診断書等	
医師・診療科から	協力が必要

《参考》
情報源の種類とその特徴

全国がん登録26項目

項目数 26項目
 →CSV形式 29項目
 -1 病院等の名称
 + 都道府県コード
 + 原発部位局在コード
 + 病理診断・組織型コード
 + 備考

項目名		項目名	
1	病院等の名称	14	診断日
2	診療録番号	15	発見経緯
3	カナ氏名	16	進展度・治療前
4	氏名	17	進展度・術後病理学的
5	性別	18	外科的治療の有無
6	生年月日	19	鏡視下の治療の有無
7	診断時住所	20	内視鏡的治療の有無
8	側性	21	外科的・鏡視下・ 内視鏡的治療の範囲
9	原発部位	22	放射線療法の有無
10	病理診断	23	化学療法の有無
11	診断施設	24	内分泌療法の有無
12	治療施設	25	その他の治療の有無
13	診断根拠	26	死亡日

届出対象か否か

1	がん患者のリハビリ目的入院。	広義のがん治療の意図のリハビリの場合。	○
		がんに関連したリハビリではない。	×
2	A病院から紹介状に胃癌術後の記載。 自施設には脳梗塞で入院。	紹介状に胃癌の経過観察依頼の記載がある。	○
		紹介状に胃癌の継続治療について記載なし。	×
3	けがで入院してきた患者が、他施設で抗がん剤治療を受けている。 自施設に入院中はけがと抗がん剤副作用に対して治療を行った。	紹介状にがんの継続治療の記載なし。	×

届出対象であるか広義のがん治療の定義で判断

- がん組織に対して何らかの影響を意図(増大を止める、切除、消失)
- 症状の軽減
- 経過観察(がん登録特別ルール)

届出対象か否か 《例》

- ◆ 他院でがんと診断され、初回治療開始。
当院へリンパ浮腫による「マッサージまたは手術」の依頼で
紹介受診。

- 紹介状にがんの治療として「マッサージまたは手術」を
依頼されているのであれば**届出対象**。
- 紹介状にがんの治療として「マッサージまたは手術」の
明記はないが、当該がんの経過観察の依頼があるとき**届出対象**。
- 紹介状に既往歴としてのがんの記載程度のとき**届出不要**。

届出対象か否か

1	自院で直腸癌の診断で他院へ紹介。他院で直腸癌の外科手術と化学療法を実施。	○
2	自院で胸部X線から肺がんの疑い。精査のため他院に紹介。	×
3	自院で高血圧治療中にカルテ情報から他院で胃癌の診断・治療が実施されていることが判明した。自院では胃癌に対する治療（フォローアップ含む）は実施していない。	×
4	自院の人間ドックでの生検で胃癌の診断。自院の診療科への受診はない。	×
5	他院で子宮頸がんと診断され放射線療法を実施。その後再発と診断され、治療目的で自院に紹介されてきた。	○

届出対象か否か 栃木県でのQ&A

Q1	他院で癌の治療をしているが、 自院でその後入院した場合。	A1	がんの治療に全く関係ない場合は不要。 しかし、痛み止め等全身(持込の麻薬も含む) 管理をしていれば届出対象。届出対象の「治療」 には、がんそのものの治療のほか、がんに伴う 症状の治療、及び経過観察を含む。
Q2	他院で癌の治療を終了しているが、 自院でその後入院し、看取った場合 (かつ届出をしなかったら)遡り調査の 対象か？	A2	がんの診断・治療を実施した他院が届出ていれ ば対象にあがらないが、2016年以前の罹患症例 であれば対象となる可能性が高い。
Q3	がんに関する情報が乏しい場合も届出 の必要があるか？	A3	届出の定義に当てはまっていれば届出対象。 基本情報を正確に入力し、がん情報は自施設で わかる範囲で提出ください。

がんに関する情報が乏しい場合も届出の必要があるか

- ・届出の対象は定義の通り。**基本情報を正確に入力し、がん情報は自施設でわかる範囲で提出ください。**

⑧	側性	マニュアル参照（7か9）
⑨	原発部位(詳細分類)	詳細部位不明
⑩	病理診断	悪性腫瘍
⑪	診断施設	他施設診断
⑫	治療施設	他施設で初回治療終了後に、自施設に受診
⑬	診断根拠	臨床診断
⑭	診断日	当該腫瘍初診日
⑮	発見経緯	不明
⑯	進展度・治療前	不明
⑰	進展度・術後病理学的	手術なし
⑱～⑳ ㉒～㉓	治療	自施設で施行なし（すべて）
㉔	観血的治療の範囲	観血的治療なし

腫瘍の種類	⑧側性	☐ 1. 右 ☐ 2. 左 ☐ 3. 両側 ☒ 7. 側性なし ☐ 9. 不明	
	⑨原発部位	大分類	胃、小腸
		詳細分類	胃の2部位以上広範又は詳細部位不明
⑩病理診断	組織型・性	悪性腫瘍	C16.9 8000/3
診断情報	⑪診断施設	☐ 1. 自施設診断 ☒ 2. 他施設診断	
	⑫治療施設	☐ 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2. 自施設で初回治療を開始 ☐ 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☒ 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8. その他	
	⑬診断根拠	☐ 1. 原発巣の組織診 ☐ 2. 転移巣の組織診 ☐ 3. 細胞診 ☐ 4. 部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5. 臨床検査 ☒ 6. 臨床診断 ☐ 9. 不明	
	⑭診断日	☒ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 2023 年 9 月 9 日	
	⑮発見経緯	☐ 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4. 剖検発見 ☐ 8. その他 ☒ 9. 不明	
進行度	⑯進展度・治療前	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☐ 777. 該当せず ☒ 499. 不明	
	⑰進展度・術後病理学的	☐ 400. 上皮内 ☐ 410. 限局 ☐ 420. 領域リンパ節転移 ☐ 430. 隣接臓器浸潤 ☐ 440. 遠隔転移 ☒ 660. 手術なし・術前治療後 ☐ 777. 該当せず ☐ 499. 不明	
初回治療	観血的治療	⑱外科的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
		⑲鏡視下	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
		⑳内視鏡的	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
		㉑観血的治療の範囲	☐ 1. 腫瘍遺残なし ☐ 4. 腫瘍遺残あり ☒ 6. 観血的治療なし ☐ 9. 不明
	その他治療	㉒放射線療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
		㉓化学療法	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明
㉔内分泌療法		☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明	
㉕その他治療	☐ 1. 自施設で施行 ☒ 2. 自施設で施行なし ☐ 9. 施行の有無不明		
⑳死亡日		☐ 0. 西暦 ☐ 4. 平 ☐ 5. 令 年 月 日	
備考		(全半角128文字)	

基本情報を正確に

- ・ 氏名（漢字）
- ・ 生年月日
- ・ 診断時住所

側性	マニュアル参照
原発部位(詳細分類)	詳細部位不明
病理診断	悪性腫瘍
診断施設	他施設診断
治療施設	他施設で初回治療終了後に、自施設に受診
診断根拠	臨床診断
診断日	当該腫瘍初診日
発見経緯	不明
進展度・治療前	不明
進展度・術後病理学的	手術なし
治療	自施設で施行なし(すべて)
観血的治療の範囲	観血的治療なし

問い合わせ先

届出の対象について不明な点がある場合は、
届出前に栃木県がん登録室までお問い合わせください。

相談先	連絡先	対応時間	問合せ内容について
栃木県保健福祉部健康増進課 がん・生活習慣病担当 がん対策チーム	028-623-3096 (直通) kenko-zoshin@pref.tochigi.lg.jp ※アドレスをコピーしてご利用の場合は#を@に変更してください	土日祝日を除く 8:30～17:15	届出制度について
栃木県がん登録室	028-645-9592 (直通) chigan@tochigi-cc.jp ※アドレスをコピーしてご利用の場合は#を@に変更してください	土日祝日を除く 9:00～16:00	届出の内容や方法について
国立がん研究センター がん登録オンラインシステム 問い合わせ窓口	がん登録オンラインシステム 専用問い合わせフォーム https://entry.gtoll.ncc.go.jp/questions/create	土日祝日を除く 9:00～17:00	がん登録オンラインシステムについて